



令和7年度通常総会

～新しい年度を迎えて～

令和7年4月24日（木）、松任文化会館ピーノにおいて令和7年度通常総会が開催されました。会員27名参加のもと、来賓には高松会頭、林青年部会長、竹内専務理事をお迎えしました。

中村副会長の開会の辞に続き、役員による全国商工会議所活動指針が唱えられました。



女性会活動指針を唱和する(左から)田中会長、中村副会長、田中副会長、八田副会長

また、引き続き能登半島地震の復興支援として今後どのような支援を必要としているのか、女性ならではの視点で取り組んでいきたい。」と力強く話されました。

総会審議にあたり、議長には北野澄江さんが選出され、第1号議案「令和6年度事業報告ならびに収支決算」、第2号議案「令和7年度事業計画案ならびに収支予算案」が提出され賛成多数により承認されました。

高松会頭の祝辞では、このところの世界情勢を踏まえての実情などをお話頂き、「大きく世の中が変化するときは、自然と社員皆が知恵を出し合うようになり、今までと違う良い流れになっていく。」と話されました。

林青年部会長からは「これからも女性ならではの感性と行動をもって地域を明るく豊かにしてください。10月には北陸信越ブロック白山大会がありますので、ご協力もお願いいたします。」と話されました。

田中由美子副会長の閉会の辞で総会は無事に終了しました。

記念講演会

「能登の復興と酒蔵再建」

総会終了後、櫻田酒造株式会社の櫻田博克氏による「能登の復興と酒蔵再建」と題しまして記念講演が開催されました。



田中会長の挨拶では、「大変大きな変化の波が押し寄せているが、会員皆様がたゆまぬ努力と互いを支え合う温かい絆によって、力強く前進することができました。



地震で能登の酒蔵は…

櫻田酒造は珠洲郡蛸島町で創業100年以上の酒蔵で現在4代目。石川県では最北の酒蔵。能登の11社の酒蔵のほとんどが地震により全壊。一部半壊のところもその後の水害に遭うなどしている。近年新しく建てなおした酒蔵は耐震があり倒壊を免れ、すでに再開しているところもある。

地震の後は、県内外の酒造会社が道路事情の悪い中、各酒蔵に駆け付けて仕込み中の酒を助けていただいた。（白山市では車多酒造さん、吉田酒造さん）また、救出されて出来上がったお酒は、統一ラベルを作り販売もできた。復興支援酒などもでき、売り上げから義援金に。そしてクラウドファンディングも立ち上げて「能登の酒を止めるな」も好調だった。

被災直後はかなり酷かったが、家財など大切なものを取り出すことは可能だった。でも、20日後にとうとう家が倒壊した。博克さんは消防団員でもあり、3日間人命救助優先でがれきの中から人を救出していた。

家族は、住めるような状況ではなかったのに、がれきを片付け、無事だったテーブルを引っ張りだして、不便ながらもたくましく生活をしていた。

ボランティアの方が来て下さり、重機を使って瓦礫を撤去してもらっていたら、なんと、諦めていた酒米が出てきた。それを見た瞬間に、これでなんとかお酒を作りたい！と思えて車多酒造さんに電話して、快諾頂きお酒を仕込むことができた。

避難所生活いろいろ



避難所生活は、初日は体育館にたくさんの方がきて、毛布も二人に一枚、裸足で来てるかたも多く、食べるものもなく、寒くて不安だった。徐々に炊き出しなども始まり、何度も来てくれる企業もあり、とてもありがたかった。一番大変だったのはトイレ。すぐに使えなくなってしまったのに、それでも使う方がいて、翌日からは、ビニール袋を敷いて使用可能にするが、すぐにいっぱいになり、それを運んで集める作業が大変だった。三日後くらいから支援物資が届き、食事の提供が始まる。

運営委員会を立ち上げ、皆で避難所を回していく。自衛隊がお風呂を設置してくださり、お風呂が入れるようになったら、避難所生活も快適に感じるように。

もし万が一こんな災害に遭うことがあるとすると、一番は車があると便利。できれば布団が敷ける広さがあると尚良い。電気が来ないので石油ストーブがあると、温かく、調理もできる。能登だけかもしれないけど、灯油の備蓄はこの家にもあり、不便がなかった。あとはカセットコンロ。ガスのボンベは支援物資でたくさん届いたので困らなかった。トイレが最後まで困るので、携帯のウォシュレットがあるとよいかも。懐中電灯も必要だけど、できれば頭につけるタイプが便利。意外と不便だったのはパックご飯。電子レンジがないと温まりにくく、湯煎でも20分以上かかるので。

本当の意味での復興

現在は解体も進み、もともと29軒あった町内は3軒しか残っていない（3軒とも10年以内に新築した家）この後、帰ってくる家は5軒ほどになる。中には、白山市に移住される方もいるのでよろしくお願いいたします。大変な目に遭ったけど、決して不幸ではないと感じている。逆に、幸せだなと思うことがたくさんある。これからも、助けていただいた皆様方のためにも酒蔵を再建して頑張っていきたいと思います。と、熱く、時には涙ぐみながら語ってくださいました。

本当の意味での復興はこれからで、それには多くの方が関心を寄せることが大切で自分なりにできる支援を続けていきたいなと思いました。



講師の櫻田博克氏と記念撮影

LUNCHセミナー

「人にも地球にもやさしいオーガニック・フェアトレードについて学ぼう」

6月4日（水）、白山商工会議所において、「LUNCHセミナー」が行われました。講師には、野々市市でオーガニック野菜やフェアトレードを中心とした商品を取り扱うお店「NOPPOKUNのっぽくん」を運営されている小浦むつみさんをお迎えしました。

能登町生まれの小浦さんは、フィリピンで、経済の発展に人々の健康や環境への対応が付いていけない現状を目の当たりにされました。日本向けのバナナを生産するために、もともと住んでいた原住民の人々は追い出され、路上生活者となっていました。また、日本人好みのきれいなバナナを作るために、毒の雨とよばれるヘリコプターによる農薬散布が行われ、それを頭から浴びた子供たちの肌は皮膚病でただれていました。日本人として、そこまでしてバナナを作ってもらっていることに大きな疑問を抱かれたそうです。

現在、のっぽくんで販売されている有機栽培のバナナは、一般的なバナナの5倍の価格です。それでも、富山からわざわざ買いに来られるお客様もいらっしゃるそうです。実際に持ってこられたそのバナナは、見た目は皮が真っ黒ですが、皮をおくと中は真っ白でもっちりしており、芳醇な香りが離れた座席まで届き、一口いただくと、濃くて甘いびっくりするバナナでした。

考えさせられるお話を他にもたくさんお聞きした後は、のっぽくんの玄米弁当をいただきました。30回は噛むようにとのこと、普段いかに噛んでいないかを実感しながら、皆さんと和気あいあい美味しいお弁当をいただきました。のっぽくんの美味しいクッキー付きです。

今回の研修は、これから少しずつでも、健康や環境、そして子供たちの未来のために、いいと思える商品を選ぶようにしていきたい、と強く心に誓ったセミナーでした。



「NOPPOKUN」のお弁当を味わう参加者



講師の小浦むつみ氏





新入会員のご紹介

熊谷 泰子さん

- トラットリア オルソ
(博労)
- 飲食業(イタリア料理)

中島 育子さん

- (有)ツクダ自動車
(相川町)
- 再生資源卸売業

野本 美由紀さん

- フェイシャルサロン・
ラシェット(博労)
- エステティック業

中村 正美さん

- ナカムラ電器
(荒屋柏野町)
- 家電販売業

谷路 啓子さん

- 行政書士たにみちけいこ
相続しゅう活相談室
(千代野東)
- 行政書士事務所

池田 悦子さん

- (株)オフィスベっぴん
(千代野西)
- 美容業

ご加入ありがとうございます。



新規会員募集中

～ご一緒に交流活動をしませんか～

女性会に未だ加入されていない知人ご友人いらっしゃいましたら、是非ご紹介下さい。

- 加入資格：白山商工会議所女性会員又は、
会員企業の家族・従業員で、満18歳以上の女性の方

○年会費：3,000円

今後の事業予定

- 8月30日(土) 草刈り
- 9月11日(木) 視察研修旅行【高松機械工業(株)あさひ工場他】
- 10月10日(金) 全国大会(東京)
- 10月20日(月)～24日(金) フードドライブ寄付品を募ります
- 10月28日(火)～29日(水) 県連1泊視察研修会【加賀方面】
- 11月21日(金) 県連会員大会(小松)

エコキャップ集めてます

ペットボトル飲料のキャップ収集を行っています。産業会館ロビー、商工会議所入り口の横に収集箱を設置しています。いつでもお持ちください。

汚れのあるもの、ペットボトル飲料以外のキャップ、アルミなどの金属キャップは、混入しないように願います。

ペットボトル飲料のキャップ以外はごめんなさい



混入しているものは、受取り出来ません。よろしくお願いいたします。